

大題材名	9. 見つめてみよう生活時間			教科書のページ	p.80～83
配当時数	2 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	A(2)アイ

大題材の目標		生活時間について、家族との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、家族の一員として、生活時間の使い方を考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	生活時間の有効な使い方について理解している。
	思考・判断・表現	生活時間の有効な使い方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活時間の有効な使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)生活時間を見つめてみよう ★他教科との関連:体育、道徳			
・ 1 日の生活時間を調べ、課題を見つけよう。 教 p.80～81	0.5	①時間軸で自分の生活を書き出して、協力の視点で見直し、課題を見つけ、工夫できることを考える。	[思判表①]発言・記録
(2)生活時間を工夫しよう			
・ 生活時間の有効な使い方を工夫しよう。 教 p.81～82	0.5	①生活時間の有効な使い方について理解し、自分の課題についてさまざまな方法で工夫する。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)生活時間を有効に使おう			
・ 生活時間の有効な使い方を工夫して、生活に生かそう。 教 p.83	1	①友だちの工夫や家族へのインタビューを参考に、自分や家族「すてき時間作戦」を考え、友達と交流する。 ②家庭での実践に向け、生活時間の有効な使い方を工夫・改善する。	[思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	10. 朝食から健康な1日の生活を			教科書のページ	p.84～91
配当時数	10 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要領の内容	B(1)ア、 B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)イ、 B(3)ア(ア)(イ)

大題材の目標		朝食の役割と栄養、いためる調理について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、調理計画を考え、いためる調理の仕方を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	食事の役割と栄養を考えた食事について理解しているとともに、いためる調理について理解し、適切にできる。
	思考・判断・表現	食事の役割と栄養を考えた食事、いためる調理について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割と栄養を考えた食事、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)朝食の役割を考えよう			
毎日の生活をふり返り、朝食の役割を考えて、課題を設定しよう。 教 p.84～85	1	①教 p.84 の写真Aさんの3日間の朝食から、よい点や課題点を話し合い、朝食の役割について考える。 ②自分の朝食のとり方のとり方をふり返り、課題を見つけ、これからめざす朝食のとり方を考える。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表①]発言・記録
(2)いためる調理で朝食のおかずを作ろう			
いろいろな食品のいため方が分かり、栄養のバランスを考えた朝食のおかずを計画し実践する。 教 p.86～90	7	①教 p.86 活動2の2つの朝食の写真を見て、どちらの食事がよいか話し合い、主にどのような働きをする食品が含まれているか調べ、3つのグループに分けて栄養のバランスを考える。 ②栄養のバランスがよい食事について考える。 ③材料に応じた切り方、いためる順序、火加減を調べ、調理計画カードに記入し、いためる調理の計画を立てる。調理をする前に手順を確かめながら計画を見直す。 ④切り方、いためる順序、火加減に注目していためる調理をする。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)朝食から健康な生活を始めよう			
朝食の学習を生かし、健康な生活を送るために家庭で朝食の計画を立てよう。 教 p.91	2	①調理実習をふり返り、計画通りに進められたか、切り方やいためる順序、火加減や味付けなど、うまくいった点や課題点について話し合う。 ②学習したことを生かして、ご飯とみそ汁に付け足す朝食のおかずの計画を考える。使う食材や調理のポイントをまとめて計画を立てる。	[思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	11. 夏をすずしくさわやかに			教科書のページ	p.92～101
配当時間	8 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	B(4)ア(ア)(イ)イ、 B(6)ア(ア)イ

大題材の目標		夏の快適な住まい方や衣服の着方と手入れについて、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、夏を涼しく快適に過ごすための住まい方や着方・手入れについて考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	住まいの働きや季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方について理解しているとともに、日常着の手入れの仕方を理解し、適切にできる。
	思考・判断・表現	季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)夏の生活を見つめよう ★他教科との関連: 社会			
・夏の生活の特徴から、工夫していることを見つけ、課題を設定しよう。 教 p.92～93	1	①イラストや生活経験をもとに、夏の気候や生活の特徴や工夫点を出し合い、自分の生活の問題点に気付く。 ②問題点をもとに、解決すべき課題を設定し、学習の見通しをもつ。 ③夏を快適に過ごす工夫を家庭で調べる。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表①]発言・記録
(2)すずしくさわやかな住まい方や着方をしよう ★他教科との関連: 理科、体育			
・夏に快適に過ごすための住まい方や衣服の着方、手入れの仕方を知り、できるようになろう。 教 p.94～99	6	①調べた夏の生活の工夫を発表する。 ②気温、湿度、風通し、騒音について調べ、健康・快適・安全の視点で、生活の問題を解決するための最適な方法を考える。 ③健康・快適で安全な着方を考える。 ④家庭で調べた衣服の手入れの工夫を発表する。 ⑤衣服を気持ちよく、長く利用するための方法を調べて交流する。 ⑥手洗いの仕方を調べ、手順に従って洗濯をする。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)夏の生活を工夫しよう ★他教科との関連: 理科			
・学習したことを、夏の生活の住まい方や衣服の着方、手入れの改善に活用しよう。 教 p.100～101	1	①学習したことを生かして学校でできる暑さ対策を話し合う。 ②わが家で夏を健康で快適に過ごすための着方や住まい方の工夫を考えて計画を立てる。	[思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	12. 思いを形にして生活を豊かに			教科書のページ	p.102～111
配当時数	14 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要領の内容	B(5)ア(ア)(イ)イ

大題材の目標		生活を便利で豊かにするための布を用いた製作について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	製作計画や手ぬいやミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいやミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいやミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)目的に合った形や大きさ、ぬい方を考えよう			
目的に合ったふくろなどを製作するために必要なポイントを考えて、課題を設定しよう。 教 p.102～103	1	①身の回りにある布製品を観察し、便利で長く使うための工夫について考える。 ②作りたいふくろやカバーをイメージして図に表し、目的に応じた製作をするための問題を見だし課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2)計画を立てて、工夫して作ろう			
目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作しよう。 教 p.104～109	12	①身近にあるふくろなどを観察して、出し入れしやすくするためのゆとりについて話し合い、目的に合った形や大きさを考える。 ②製作計画を立てる。 ③製作の途中で、製作計画や作品を友達と見せ合い、工夫できることについて話し合う。 ④製作計画に沿って、安全に注意し、工夫しながら布作品を製作する。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②③]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)衣生活を楽しく豊かにしよう			
製作を通して学んだことを生かして、生活を豊かにする計画を立てよう。 教 p.110～111	1	①使い心地や贈った相手に聞いた感想を報告し合い、工夫することのよさに気付く。 ②生活を豊かにする布作品の提案について意見交換し、製作計画を立てる。	[思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	13. まかせてね今日の食事			教科書のページ	p.112～120
配当時数	10 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	B(1)イ、B(2)イ、 B(3)ア(ア)(イ)(ウ)イ、 C(1)ア(ア)(イ)イ、 C(2)アイ

大題材の目標		栄養を考えた食事について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、1食分の献立と環境に配慮した調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、栄養のバランスを考えた1食分の献立を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。
	思考・判断・表現	1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事や買い物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)献立の立て方を考えよう ★他教科との関連:社会・体育			
1食分の献立を立てるときに必要なことを考え、課題を設定しよう。 教 p.112～113	1	①教 p.112 の写真を見て、献立はどのように考えて立てられているのか話し合い、1食分の献立が立てられるようにするための課題を設定する。	[知技] 発言・記録・行動観察 [思判表①] 発言・記録
(2)1食分の献立を立てて、調理しよう ★他教科との関連:社会			
1食分の献立を立て、環境に配慮して調理しよう。 教 p.114～119	8	①いろいろな食品を使って主食をご飯とし、主菜・副菜・汁ものを組み合わせて栄養のバランスがとれた1食分の献立を考える。 ②必要な材料・分量、用具、手順を調べて調理計画を立てる。環境への影響も考える。 ③買い物の仕方について考え、材料の準備をする。 ④おかず作りの調理実習を行い、計画通りできたか、環境に配慮して調理できたかふり返る。	[知技] 発言・記録・行動観察 [思判表②] 発言・記録 [態度①②] 発言・記録・行動観察
(3)工夫してよりよい食事にしよう			
よりよい食事にするための工夫について考えよう。 教 p.120	1	①これまでの学習を生かして、よりよい食事をするために工夫できることについて考える。	[思判表③④] 発言・記録 [態度③] 発言・記録・行動観察

生活の 課題と実践	生活を変えるチャンス！ ② ※この A(4)アの内容は、2 学年間で一つ又は二つの課題を設定して履修させるものです。各学校の指導計画に沿って、どの時期に実施するか決定の上、進めてください。			教科書の ページ	p.121
配当時数	3時間	活動時期	12 月～1 月	学習指導要 領の内容	A(4)ア

生活の課題と実践の目標		学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践することができる。
生活の課題と実践の 観点別 評価規準	知識・技能	—
	思考・判断・表現	家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)課題を設定しよう			
・家庭の仕事や家族の人々との関わりについて身近な日常生活の中から問題を見いだして、課題を設定しよう。	1	①成長の記録を見て、これまでに学習したことをふり返り、家庭の仕事や家族の人々との関わりについて、自分の生活を見直す。 ②成長の記録を見て、もっとよくしたい点、挑戦したいことなど、生活の問題を見つける。 ③家庭科の窓を参考にどうすれば生活の問題をよりよく工夫できるか考え、課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2)計画を立てよう			
・課題を解決するための計画を立てよう。	1	①課題を解決するための家庭実践の計画を立てる。（実践レポートの目的、方法、手順、実践の時期、必要な材料や道具など） ②友達や家族など周りの人の意見を参考に計画を工夫する。	[思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)家庭で実践しよう			
・計画に沿って実践し、家族から感想をもらおう。	家庭での時間	①計画に沿って、実践する。 ②実践したことについて、家族など周りの人から感想を聞く。 ③できたこと、できなかったこと、さらに工夫したいことなどを実践レポートにまとめておく。	
(4)実践をまとめて、発表しよう			
・実践したことを相手に伝えるようにまとめて発表しよう。 (発表は、全体交流、グループ交流、ポスター発表など実態に合わせて行うとよい。)	0.7	①実践レポートをもとに、相手に伝えるように工夫してまとめる。 ②自分の実践を発表する。 ③発表した内容について友達と意見を交流し、実践のよさや課題、友達の発表のよさをメモする。	[態度①②]発言・記録・行動観察、 [思判表③]発言・記録
(5)友だちの感想などを参考に改善点を考えよう			
・友達や家族など周りの人の感想を参考に、実践を評価・改善しよう。	0.3	①友達や家族など周りの人の感想を参考に、自分の実践を評価し、よさと改善点を考える。 ②新たに挑戦したいことを考える。	[思判表④]発言・記録 [態度③]発言・記録

大題材名	14. 冬を明るく暖かく			教科書のページ	p.122～127
配当時数	5 時間	活動時期	1～2 月	学習指導要領の内容	B(4)ア(ア)イ、 B(6)ア(ア)イ

大題材の目標		冬の快適な住まい方や衣服の着方について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、冬を暖かく快適に過ごすための住まい方や着方について考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	住まいの働きや季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について理解している。
	思考・判断・表現	季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)冬の生活を見つめよう		★他教科との関連: 社会	
冬の生活の特徴から、工夫していることを見つけ、課題を設定しよう。 教 p.122～123	1	①教 p. 122 導入イラストや生活経験をもとに、冬の気候や生活の特徴と問題点を出し合い、自分の生活の問題点に気付く。 ②問題点をもとに、解決すべき課題を設定し、学習計画を立てる。 ③冬を快適に過ごす工夫を家庭で調べる。	[思判表①]発言・記録
(2)暖かい着方や住まい方をしよう		★他教科との関連: 理科、体育	
寒い季節に快適に過ごすために衣服の着方や住まい方ができるようになる。 教 p.124～126	3	①暖かさの実験を行い、衣服の暖かい着方の仕組みを理解する。 ②暖房器具の特徴や健康・安全を考えた使い方を調べる。 ③健康を考えた効果的な換気の仕方を調べ、そのよさについて話し合う。 ④教室や廊下の暖かさと明るさを調べる。 ⑤測定結果をもとに、日光の利用の仕方を考える。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)冬の生活を工夫しよう			
これまで学習したことを生かして、自分の生活を見直し、冬の着方や住まい方の工夫を計画しよう。 教 p.127	1	①学習したことを生かして学校でどのようなことができるのか話し合う。 ②教 p. 127 活動4のイラストの男の子の課題を見つけ、どのようなアドバイスをするのかを考える。 ③自分の家庭でできる健康で快適な生活の計画を立てる。	[思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	15. あなたは家庭や地域の宝物			教科書のページ	p.128～133
配当時数	2 時間	活動時期	2～3 月	学習指導要領の内容	A(3)ア(イ)イ

大題材の目標		家族や地域の人々との関わりについて、家族や地域の人々との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、よりよい関わりについて考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。
	思考・判断・表現	家族や地域の人々との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)家族や地域の一員として			★他教科との関連:道徳
自分の家庭生活と地域の人々との関わりについて考え、課題を設定しよう。 教 p.128～129	0.5	①教 p.128 導入イラストを見て、自分の生活と地域の人々との関わりについて考える。 ②教 p.129 活動2を参考に、協力、持続可能な社会の視点から、家族や地域の一員としての自分の生活を見直し、地域の人々との関わりについて考え、課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2)私から地域につなげよう！広げよう！			
2年間の学習を生かして、地域や家庭をよりよくする工夫を考えよう。 教 p.130～131	1	※目次や教 p.6 成長の記録を活用し、成長をふり返る。 ①地域や家庭をよりよくする工夫についてさまざまな解決法を考え、2年間の学習を生かして、実践計画を立てる。 ②発表交流会をして、実習をふり返り、評価すると共に地域や家庭をよりよくしていくためにどのようなことを考えて工夫すればよいかを考える。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②③]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)もっとかがやくこれからの私たち			★他教科との関連:社会
家庭科で学んだことを、持続可能な社会をつくるために生かしていこう。 教 p.132～133	0.5	①実践をふり返り、評価するとともに、よりよい生活・持続可能な社会を作っていくために家庭や地域で工夫できることを家庭科の窓（見方・考え方）を生かして考え、意見交流をする。	[思判表④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

生活の 課題と実践	生活を変えるチャンス！ ③ ※この A(4)アの内容は、2 学年間で一つ又は二つの課題を設定して履修させるものです。各学校の指導計画に沿って、どの時期に実施するか決定の上、進めてください。			教科書の ページ	p.134
配当時数	3時間	活動時期	2 月～3 月	学習指導要 領の内容	A(4)ア

生活の課題と実践の目標		学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践することができる。
生活の課題と実践の 観点別 評価規準	知識・技能	—
	思考・判断・表現	家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)課題を設定しよう			
・家庭の仕事や家族、地域の人々との関わりについて身近な日常生活の中から問題を見いだして、課題を設定しよう。	1	① 5・6 年生で学習したことをふり返り、自分や家族、地域の人々との生活を見直す。 ② 成長の記録を見て、もっとよくしたい点、挑戦したいことなど、身近な生活の問題を見つける。 ③ 家庭科の窓を参考にどうすれば問題をよりよく工夫できるか考え、課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2)計画を立てよう			
・課題を解決するための計画を立てよう。	1	① 課題を解決するための実践の計画を立てる。（実践レポートの目的、方法、手順、実践の時期、必要な材料や道具など） ② 友達や家族、地域の人々など周りの人の意見を参考に計画を工夫する。	[思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)家庭や地域、学校などで実践しよう			
・計画に沿って実践し、家族や地域の人々など周りの人から感想をもらおう。 (※学校で実践する場合は、他教科等の活動と組み合わせて行うとよい。)	家庭や 地域、 学校な どでの 時間	① 計画に沿って、実践する。 ② 実践したことについて、友達や家族、地域の人々など周りの人から感想を聞く。 ③ できたこと、できなかったこと、さらに工夫したいことなどを実践レポートにまとめておく。	
(4)実践をまとめて、発表しよう			
・実践したことを相手に伝えるようにまとめて発表しよう。 (※発表は、全体交流、グループ交流、ポスター発表など実態に合わせて行うとよい。)	0.7	① 実践レポートをもとに、相手に伝えるように工夫してまとめる。 ② 自分の実践を発表する。 ③ 発表した内容について友達と意見を交流し、実践のよさや課題、友達の発表のよさをメモする。	[態度①②]発言・記録・行動観察、 [思判表③]発言・記録
(5)友だちの感想などを参考に改善点を考えよう			
・友達や家族、地域の人々など周りの人の感想を参考に、実践を評価・改善しよう。	0.3	① 友達や家族、地域の人々など周りの人の感想を参考に、自分の実践を評価し、よさと改善点を考える。 ② 新たに挑戦したいことを考える。	[思判表④]発言・記録 [態度③]発言・記録